

はじめに

本区は、「目黒区基本構想」に、目指すまちの将来像「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」を掲げ、その実現のため今後10年間に取り組むべき課題と施策の基本的な方向を総合的かつ体系的に示した「目黒区基本計画」に基づき、区民の皆様とともにまちづくりを進めています。「目黒区実施計画」は、基本計画に掲げる各分野の目標・施策を具体化し、計画的に進めていくための5か年の実行計画であり、原則として3年毎に内容を見直すこととしています。令和6年度が前計画期間の3年目であることから、社会経済状況等を踏まえながら、このたび改定しました。

新実施計画では、目指すまちの将来像を実現するため3つのテーマを掲げています。1つ目は「災害に強く安全なまちに」で、快適で誰もが暮らしやすく、あらゆる危機事象に適切に対処できるまちづくりを推進してまいります。2つ目は「よりよい子育て・教育環境を子どもたちへ」で、全ての子どもたちが生き生きと成長し、学んでいくことができる環境を整えてまいります。3つ目は「デジタル活用でさらなる変革を」で、未来を見据えてデジタル技術を積極的に活用し、区民サービスの充実と業務効率化を実現させながら、持続可能な行政運営を行ってまいります。

また、新たな事業として、区民サービスの向上に資するIT基盤の構築、統合新校の新校舎建設、避難所生活課題に対する備えの充実、などに取り組んでまいります。

このように、本計画では、合計で48事業、事業費約1,235億円を計上しています。

前計画と比較して、事業数は1つ減少しましたが、事業費は約2.6倍に増加しています。これは、学校施設の更新や市街地再開発といった前計画からの継続事業が、より具体的な実施段階に入ったことに加え、建築資材や施設整備に係る人件費の高騰が起きているためです。

限られた財源を適切に活用していくためには、区民サービスの向上と事務事業の効率化を両立し、持続可能な行財政運営に取り組む必要があります。

実施計画の改定と同時に、区の中長期的な財政収支の見通しに基づき、実施計画を着実に実施していくための財源の裏付けとなる「目黒区財政計画」を策定しました。

先行きの見えない社会情勢等により、不確実性が高い状況が続いており、長期的な区の財政状況は予測の難しい状況となっておりますが、新たな実施計画、財政計画を着実に実行し、「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」に向けて邁進してまいります。

改めて、区民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和7（2025）年 3月

目黒区長 青木 英二

目 次

I	実施計画 財政計画 概要版	
	実施計画概要版	3
	財政計画概要版	10
II	目黒区実施計画（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）	
第1	計画の基本的な考え方	
1	計画の目的	15
2	計画の性格・位置付け	15
3	計画の特徴	15
4	計画事業選定の際の基準（基本的な考え方）	16
5	計画の期間及び改定の時期	16
6	計画の進行管理	16
第2	計画の概要	
1	過去2期との事業費比較	17
2	施策の体系	18
3	計画の主な変更点	20
(1)	計画を継続する事業	20
(2)	新たに計上する事業	21
(3)	今回計画に計上しない事業	21
4	実施計画事業費集計表	22
5	事業費別新旧計画比較表	24
6	SDGsについて	26
7	主な施設等整備事業	30
第3	計画の内容	
1	事業計画個票の見方	31
2	事業計画個票	33
III	目黒区財政計画（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）	
1	今後の区の財政状況	83
2	財政計画の策定	83
3	歳入・歳出の見通しの条件	83
4	財政計画	
別表	目黒区財政計画（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）	85
参考	：積立基金残高の将来予測	85
参考	：特別区債残高の将来予測	85
5	財政計画の分析	
別紙	財政計画の分析	86

IV	参考資料	
1	パブリックコメントの実施結果について	95
2	目黒区実施計画改定の経緯	96
3	財政運営上の3つのルールの見直しについて	97
4	その他	102
	・目黒区実施計画改定要領	102
	・目黒区の長期計画のあゆみ	105
	・区民憲章	108